

《Ⅶ 社会的活動》

【社会的活動（国際的活動は別項で記述）への取組みについて】

（１） 社会的活動への取組みについて、その理念や方針等、教育・研究における位置づけについて、短期大学ではどのように考え、また今後どのように取組む予定かを記述して下さい。

社会的活動を重要な社会貢献と位置付け、開学以来培ってきた教育・研究における成果をできるだけ多く、多種多様な方法を用いて地域社会等に還元することであると考えている。

生涯学習の観点から、毎年夏季に4～5回、社会人を対象とした公開講座を群馬県教育委員会及び館林市教育委員会との共催で実施している。地域子育て支援事業も行っている。公開講座、地域支援事業については、教授会において毎年の講座数、講座内容、講師等を検討協議しながら実施している。

また、学生のボランティア活動等については、担当職員を配置し、保育所を含む社会福祉施設等におけるボランティア活動を奨励している。

（２） 社会人受け入れの状況について、生涯学習の観点から短期大学では社会人の受け入れを今後どのように考えているかを記述して下さい。

現在、教育や保育の現場を取り巻く環境は、激しく変化している。こうした環境の中で、専門職としてさまざまな場面に対応できる有能な人材の育成が大学には求められている。

社会人を受け入れ、その社会的な経験に、大学で学ぶ専門的な知識や高度な技術を加えることは、このような社会のニーズに応えることとなる。

社会的活動の一環として、公開講座を開き、広く社会に対して生涯学習の場を提供し、社会人への働きかけを行っている。入学試験においても、社会人に対しては、社会人入試及び社会人AO入試を一般入試とは別枠で実施している。

（３） 過去3ヶ年（平成19年度～21年度）に短期大学が行った地域社会に向けた公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放等の実施状況を記述して下さい。

平成14年度から公開講座のメインテーマを「さわやかに生きる」とし、本学の知的財産を地域社会に還元するという基本姿勢で推進している。

〔公開講座の実施状況(平成19年度から平成21年度)〕

| 年度 | テーマ | 実施日 | 受講者数 |
|----|----------------------------|------|------|
| 19 | 食と健康　－健康長寿をめざして－ | 9/1 | 72人 |
| | 豊かな感性を持ち続ける！　－時空を超えたメッセージ－ | 9/8 | 78人 |
| | 人生・スタートとゴール前　－どちらも「可愛く！」－ | 9/15 | 69人 |
| | 楽しい身体表現　－体ほぐし、心ほぐし－ | 9/22 | 58人 |
| | 絵本の楽しみ　－自作を語る－ | 9/29 | 56人 |

| 年度 | テーマ | 実施日 | 受講者数 |
|----|--------------------------------------|-------|------|
| 20 | さわやかに生きるとはどういうことか －心理療法と源氏物語を題材に－ | 9/6 | 57人 |
| | 遊びと生活文化 ー世代を豊かにつなぐためにー | 9/7 | 48人 |
| | 古武道における人材育成の視点 ー武士道の心とはー | 9/8 | 53人 |
| | 青春の文学と老いの文学 ー嫌老社会への挑戦ー | 9/9 | 57人 |
| 21 | 心の教育と家庭教育 ー見直してみましよう、心って何？ー | 9/19 | 47人 |
| | 楽しい食事学 ー食生活を見直してみようー | 9/26 | 52人 |
| | 愛唱歌を訪ねて ー人が歌をつくり、歌が人をつくるー | 10/24 | 34人 |
| | “良い子”が危ない ー子どもの発達を考えるー | 10/25 | 45人 |

(4) 過去3ヶ年(平成19年度～21年度)の短期大学と地域社会(自治体、商工業、教育機関、その他団体等)との交流、連携等の活動について記述して下さい。

本学の教員は、群馬県及び館林市の行政機関を中心に、国のレベルから市町村まで多岐にわたる範囲で、各種委員会等の委員に就任している。各種講演会・研修会の講師依頼も多く、可能な限り対応している。行政機関・教育機関・文化スポーツ団体・福祉団体等とは、次のような連携活動を行っている。

[行政機関・教育機関・文化スポーツ団体・福祉団体等との連携活動状況]

| 区分 | 名称 | 内容 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 |
|----|------------|---------------------------|-------|-------|-------|
| 行政 | 群馬県 | 社会福祉審議会 | ○ | ○ | ○ |
| | 独立行政法人 | 行政法人国立病院機構東京医療センター治験審査委員会 | ○ | ○ | ○ |
| | 館林市 | 総合計画審議会「子育てと遊び部会」 | | | ○ |
| | 館林市 | 市立保育園民営化検討委員会 | ○ | ○ | |
| | 館林市 | 市立保育園地域子育て支援センター | ○ | ○ | ○ |
| | 館林市 | 次世代育成支援行動計画策定委員会 | | ○ | ○ |
| | 館林市 | 館林市史編さん委員会 | | | ○ |
| | 館林市 | 総合福祉センター指定管理者選定委員会 | | | ○ |
| | さいたま市 | 小学校評価事業 | ○ | ○ | ○ |
| | さいたま市 | 道徳教育運営協議会 | ○ | ○ | ○ |
| | 深谷市 | 幼児教育啓発事業「ふれあいひろば」 | ○ | ○ | ○ |
| | 千代田区 | 生涯学習推進委員 | | ○ | ○ |
| | 宇都宮市 | スクールカウンセラー | | | ○ |
| | 明和町 | 教育委員会 | | ○ | ○ |
| | 板倉町 | 保育園統合民営化事業共同事業体選定委員会 | ○ | ○ | ○ |
| | 館林市社会福祉協議会 | ボランティアセンター運営委員会 | ○ | ○ | |
| | 群馬県保育協議会 | 保育士統一適正試験問題作成委員 | ○ | ○ | ○ |

| | | | | | | |
|-------------|-------------|---|--------|---|---|---|
| | NPO法人 | 前橋保育ネットワーク | 顧問 | ○ | ○ | ○ |
| | 子ども未来財団 | 講演厚生労働省「次世代育成支援協働フォーラムinぐんま」 | 実行委員長 | ○ | ○ | |
| | 群馬社会福祉評価機構 | 福祉サービス第三者評価決定委員 | 委員 | ○ | ○ | ○ |
| | 群馬県立館林高校 | 評議員 | | ○ | | |
| 教育・文化・福祉等団体 | 館林市 | 生涯学習館林市民の会「ハートフル大学」 | | ○ | | |
| | 館林市 | 館林地区6人制バレーボール大会 | 実行委員長 | ○ | ○ | ○ |
| | 社会福祉法人 | 桃木会 | 理事長 | ○ | ○ | ○ |
| | 館林市 | 体操協会 | 指導員 | ○ | ○ | ○ |
| | 館林市 | バドミントン協会 | 理事 | ○ | ○ | ○ |
| | 埼玉 | 剣道連盟 | 居合道審査員 | ○ | ○ | ○ |
| | 町田市公立小学校研究会 | 劇指導ワークショップ [※] 、表現ワークショップ [※] | 委員 | ○ | ○ | ○ |
| | | 英検面接委員 | 面接委員 | ○ | ○ | ○ |

【学生の社会的活動について】

(1) 過去3ヶ年（平成19年度～21年度）の学生による地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等社会的活動の状況を記述して下さい。

平成19年度～21年度の間次のおりの地域社会への貢献活動を行った。

| 日時 | 場所 | 参加者数 | 内容 |
|--------------|-------------|------|-------------------------------|
| 19年6月9日（土） | ひまわり学園 | 4 | 知的障害児と遊ぶ |
| 19年6月23日（土） | ひまわり学園 | 5 | 知的障害児と遊ぶ |
| 19年7月28日（土） | 館林市立養護学校 | 10 | 夏祭りで知的障害児と遊ぶ |
| 19年8月4日（土） | 梨花の里 | 3 | 納涼祭の準備・模擬店・片付け |
| 19年8月4日（土） | かんなの里 | 2 | 夏祭りの準備・模擬店・片付け |
| 19年8月6日～10日 | 館林市立第三中学校 | 7 | 英語・数学・国語・社会・理科のサマー学習会支援 |
| 19年10月7日（日） | 老本幼稚園 | 5 | 運動会のお手伝い |
| 19年10月20日（土） | 陽光園 | 12 | 秋祭りのお手伝い |
| 20年4月20日（日） | 西児童館 | 10 | こども祭りの手伝い |
| 20年7月28日（土） | 館林市立養護学校 | 9 | 夏祭で知的障害児1人にボランティア1人がついて支援する |
| 20年8月6日～10日 | 太田100km徒歩の旅 | 5 | 子どもと一緒に歩き面倒を見る |
| 20年8月18日～20日 | 館林市立第三中学校 | 10 | 英語・数学・国語・社会・理科のサマー学習支援 |
| 20年11月8日（土） | 太田保健福祉事務所 | 2 | 「マザー&チャイルド・ファミリーフェスティバル」での手伝い |
| 21年1月27日（火） | 館林市西児童館 | 5 | 「地域子育て支援センターお楽しみ広場」での手伝い |

| | | | |
|--------------|-------------|---|----------------|
| 21年8月6日～10日 | 太田100km徒歩の旅 | 5 | 子どもと一緒に歩き面倒を見る |
| 21年8月29日（土） | はくちょう園 | 2 | 納涼祭ボランティア |
| 21年10月17日（土） | 陽光園 | 8 | 秋祭りボランティア |
| 21年11月15日（土） | はくちょう園 | 2 | 文化祭ボランティア |
| 22年2月12日（金） | 大泉文化村 | 6 | 託児ボランティア |

（２） 短期大学では学生の地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等についてどのように考え、どのように評価しているか記述して下さい。

学生の自主的組織である学友会が中心となり、「たなばたの集い」や「アザリア祭」（学園祭）において、地域の幼児向け企画を実施している。この取り組みは、教員も地域活動として高く評価しており、企画や準備段階から支援を行っているが、当日に会場において同時に教員による子育て相談もあわせて実施し、より地域への貢献度を高めるようにしている。

【国際交流・協力への取組みについて】

（１） 過去３ヶ年（平成 19 年度～21 年度）の学生の海外教育機関等への派遣（留学〈長期・短期〉を含む）の状況を記述して下さい。

過去３年間に於いては、実施されていない。今後、対応について検討を行いたい。

（２） 過去３ヶ年（平成 19 年度～21 年度）の短期大学と海外教育機関等との交流の状況を記述して下さい。

過去３年間に於いては実施されなかった。今後、対応について検討を行いたい。

（３） 過去３ヶ年（平成 19 年度～21 年度）の教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等の状況を記述して下さい。

教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等については、過去３年間に於いては実施されなかった。今後、対応について検討を行いたい。

【特記事項について】

(1) この《Ⅶ社会的活動》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば高大連携等の他の教育機関との連携、外国人への日本語教育等、社会的活動について努力していることがあれば記述して下さい。

高大連携については、附属高等学校生徒の希望者に対し、短期大学授業科目の聴講を許可した。地域の高等学校の要望に応じて保育実習の要領などの出前授業も行っている。

さらに、地域の子育て支援事業として、学園祭時に子育て関連事業関係者の研修や、保護者に対する相談（カウンセリング）会の企画を実施すると共に、地域の保育所に対し要望に応じて子育て相談を実施している。

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

なし。

〈添付資料〉 社会人受け入れについての印刷物等

〈参考資料〉 海外留学希望者に向けた印刷物等